

事業番号	- 4	事業名	地域安全推進事業			
所 管	市民人権	局	市民生活	部	市民協働	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる条例にある、市民が住み続けたいまちづくりとはどういうものなのか、効果的・効率的な安心・安全のまちづくりの観点から事業を進めてほしい。 ・市民がどこに不安を感じているかを明らかにして有効な施策を実施することが必要。 ・防犯カメラや防犯キャンペーンは本当に防犯効果があるのか。 ・防犯カメラは設置費用が高く、人権（プライバシー）の問題や、運用・管理に関する責任問題などリスクが多いため、廃止すべきと考える。 ・非行少年の改心や、犯罪者も更生できる社会づくりが必要で、犯罪防止より、犯罪を生まない社会づくりを検討し、そこにこそ税金を使うべき。 ・防犯灯・防犯カメラの設置補助に事業が集中し過ぎている。国・府との協働の可能性をもっと追求すべきである。 ・市民が動きたくなる仕組みづくりが必要 ・防犯カメラの設置より、消費電力の少ない防犯灯等への切り替えや、ひったくり防止カバーの配布を拡充することに力を入れるべきではないか。 						
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施（現行どおり）					0	0
市で実施（強化・拡充）					5	0
主な具体的強化策	<ul style="list-style-type: none"> ・予防策を拡充する。 ・防犯灯の増設。防犯カメラは自治会の他、集合住宅にも広げてはどうか。レンタルの場合の補助等も検討しては。 ・まだまだ暗い道が多いので、防犯灯を増設してほしい。 ・市民の安全安心は市政の基本。学校現場での安全教育（犯罪防止、法令遵守、災害防止）の充実。 					
市で実施（要改善）					11	4
の事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める				(0)	(0)
	市民との協働を推進する				(3)	(2)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する				(0)	(0)
	その他				(1)	(0)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す				(5)	(1)
	他の事業との統合・再編を検討する				(0)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）				(0)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(1)	(0)
	その他				(1)	(1)
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯、防災に協働で取り組むための事業を拡充。防犯カメラについても拡充。 ・防犯カメラは、プライバシーの保護の問題を慎重に検討しながら設置していく必要がある。 ・治安は警察が守るという意識が強い。予算や行動指針等、さらに警察と連携を進めて事業を実施する必要があるのでは。 ・防犯パトロールに従事する人の年齢に問題はないか。（高齢化している） 					
実施主体の見直し					0	1
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(1)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					0	0
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）				(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない				(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）				(0)	(0)
	効果がない（低い）				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。